

「横浜医学」投稿規程

2004.10.1 改定

- 1 投稿資格・内容 原則として横浜市立大学医学会会員に限る。生物学・医学の進歩発展に寄与する独自性のあるもので、他誌に発表されていない内容のものに限る。
- 2 投稿の種類 総説、原著、症例報告、資料など。（原稿の表紙に明記のこと）
- 3 倫理面での配慮など
 - 1) 臨床研究など人体材料を用いた研究では、研究を行った施設・機関の倫理委員会あるいはこれに相当する委員会等で審査され承認を受けていることを本文末尾に明記する。症例報告についても同様であるが、論文作成に際しては特に患者本人の特定が出来ないように最大限配慮をすることとする。なお、上記の倫理委員会等の審査機構が設置されていない施設・機関での研究内容はヘルシンキ宣言（ヒトにおける生物学医学研究にたずさわる医師のための勧告）に沿って行うこととし、これを本文末尾に明記する。
 - 2) 実験動物を使用した研究においては、研究を行った施設・機関の動物実験倫理委員会あるいはこれに相当する委員会等で審査され承認を受けていることを本文末尾に明記する。
 - 3) 組み換え DNA を用いた研究においては、定められた法規に従って研究を行ったこと、ならびに然るべき委員会で承認を受けていることを本文末尾に明記する。
- 4 執筆規定
 - 1) 和文
 - a) 提出仕様
 - ① A4 判に12ポイント以上の文字（1 頁1,200字、30行程度）を使用。
 - ② 表紙、和文要約、本文、引用文献、Abstract（総説、資料には不要）、図や写真の説明文、表、図、写真の順に綴じたものとそのコピーの計2部を提出。
 - ③ フロッピー（本文をテキストファイルに保存したもの）を添付。
 - b) 記載順序
 - ① 表紙：和文題名、著者名、所属名、20字程度のランニングタイトル、図、表、写真の枚数、別刷希望部数（50部単位）、連絡先（住所、電話、fax、E-mail 等）。
 - ② 和文要約（600字以内、結論に代える）および内容検索用 Key words（5 語程度とし、日本語・英語併記）
 - ③ 本文（原著は16,000字、症例報告は12,000字程度まで。図、表、写真は各1枚を400字としてその中に含む。総説はこの限りではない。）
 - ④ 引用文献
 - ⑤ Abstract（英語300字程度をダブルスペースで）
英文題名（大文字）、ローマ字著者名（例：Taro TANAKA）、英文所属名
Native Speaker の校閲済サインを必要とする。サインのない場合には有料にて医学会が然るべき校閲者に依頼する。
 - c) 本文の形式
 - ① 原著の項目
緒言（はじめに）、材料および方法、結果、考察の順を原則とする。
 - ② 各項目の細分は次の通りとする。
I, II, ..., A, B, ..., 1, 2, ..., a, b, ..., (1), (2), ...,
 - d) 書体・用語
 - ① 現代仮名使いの平仮名、当用漢字を用い、十分に推敲した原稿とする。
 - ② 句読点（「.」「,」に統一）、カッコは正確に1文字分として数える。
 - ③ 学名は必ず2命法により、イタリック体で記載する。
 - ④ 術語は各学会の用語集に従う。
 - e) 度量衡の単位及び略号 単位は国際単位（SI）を用い、ピリオドをつけない。次の例に準ずる。
例：m cm mm μ m nm, kg g mg μ g ng pg, m^2 cm^2 mm^2 , m^3 cm^3 mm^3 (ml, dl 併用可), ° (度)
' (分) " (秒) d (日) h (時) min (分) s (秒) ms μ s, °C (温度), mol/L ppm (物質濃度),
Ci R rad, SD (standard deviation) SEM (standard error of means), P (probability), OD (optical density). その他特殊な単位は JIS 又は "SI 単位" 参照のこと。

- f) 引用文献 引用順に本文中の引用箇所右肩に片括弧 (例……Virchow¹⁾) で番号を付し、次の例の記載法で末尾に番号順にまとめる。特に句読点に注意する。6名まで全員記載し、7名以上は最初の3名を記載する。誌名を略記する場合は、本邦のものは日本医学図書館協会編、日本医学雑誌略名表により、外国のものは Index Medicus に従うこと。

和文原著文献

田村昌也, 太田安彦, 越田嘉尚, 他: 興味ある画像所見を呈した胸膜発生 Solitary Fibrous Tumor の1例. 日呼外会誌, **17**: 102-106, 2003.

和文単行本

鈴木俊介, 鈴木淳一: 呼吸機能からみた識別診断. 気管支喘息の周辺疾患. 秋山一男, 中川武正, 斎藤博久 (編), 209-219, 現代医療社, 1996.

欧文原著文献

Takakura N, Watanabe T, Suenobu S, et al: Novel function of hematopoietic stem cell for angiogenesis. Cell, **102**: 199-209, 2000.

欧文単行本

Ito S, Kanno H, Kondo K, et al: Mutations and loss of heterozygosity of the von Hippel-Lindau tumor suppressor gene in sporadic central nervous system hemangio-blastomas. Brain Tumor Research and Therapy, Nagami M (Ed), 277-282, Springer-Verlag, Tokyo, 1996.

- g) 図・表・写真 ① スライドのままのものは不可。
② 刷り上り1頁に収まる大きさを限度とし、本文とは別にまとめる。
③ 図は原則としてそのまま原図となるものとする。
④ 図1, 表1, 写真1, のようにして本文中に挿入すべき場所を明記し、欄外に朱書きで指定する。
⑤ 図, 写真の題・説明 (原則として和文) は別紙にまとめて記載する。
⑥ 表には原則として縦線は入れない。

2) 英 文

基本的には和文執筆規定に準ずる。本文は原則として15枚以内とする。原稿はA4用紙の片面のみに四方向とも25mm以上の余白をとり、12 point 大の文字で double space にて印字する。項目立ては以下に大文字で示したとおりとし、各項目には () 内の内容を記載する。各項目は頁を改めて新たに記述しはじめるものとする。TITLE PAGE (the full title of the article; the full name(s) of author(s) and affiliation(s); a short running head of not more than 50 letters including spaces; address to which proof and all correspondence should be sent), ABSTRACT (not more than 300 words; and key words of not more than 5), TEXT (divided into the sections of Introduction, Materials and methods, Results, and Discussion), ACKNOWLEDGEMENTS, REFERENCES, TABLES, FIGURE LEGENTS.

- 5 原稿の採否 編集委員会が決定する。論文は編集委員 (必要により編集委員が適当と認めた者を含む) により査読され、内容の修正を求めることがある。基礎研究・臨床研究いずれにおいても倫理委員会での承認、同意書の取得等の倫理面への配慮に関する記載も採否の対象とする。
- 6 校正 校正は全て著者の責任において行う。原則として文字校正のみ。原文の変更・追加は認めない。
※ 「正誤表」は作成しないこととする。
- 7 費用 ① 掲載料は1頁12,000円 (研究業績の掲載料は1頁8,000円)、但し依頼した総説については無料とする。
② 別刷代は送料を含め全額著者負担。
③ 英文 (Abstract) 校閲料は一件につき3,000円。(但し Native Speaker 校閲済みサインがあるものを除く)
英文論文原稿の Native Speaker による校閲は著者の責任において行う。
④ カラー印刷は実費を請求する。
⑤ 校正時、変更箇所が広範囲に及ぶ時には実費を請求する。

8 提 出 先 〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9 横浜市立大学医学部内 医学会事務局（A207号室）に持参または必ず書留郵送すること。

9 提 出 期 限 下記のように定める。

発行予定日	原稿提出期限日
第1号（1月31日発行）	前年11月15日
第2号（3月31日発行）	1月16日
第3号（5月31日発行）	3月15日
*第4号（7月31日発行）	5月15日
第5号（9月30日発行）	7月15日
第6号（11月30日発行）	9月16日

※ 第4号は研究業績集とし、他の論文は掲載しない。提出期限（5月15日）を過ぎた場合は、次年度の研究業績集に掲載する。

注1 提出期限内であっても、原稿が多数の場合には次号に掲載されることもある。

（編集委員会において審議する）

注2 提出期限を厳守すること。

10 著 作 権 「横浜医学」に掲載された論文等の著作権は「横浜市立大学医学会」に帰属する。